

(別紙4(2))

事業所名(株)富士見プロジェクト さくら2号館

目標達成計画

作成日: 令和2年 11 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	水、パン、アルファ米とともにローリングストックを含め3日ほどのため、単独で最低3日は確保とする ②非常食は消費期限を含む一覧表を作成する	最低でも単独で3日分の食糧をストックする。 非常食の消費期限を一覧表にする。	現在食糧などの備蓄品が少ない為災害に備えて最低単独3日以上ストックをする。(職員で話し合いをして決める)また非常食の消費期限を一覧表にして職員が誰でも分かるようにする。	12ヶ月
2		毎日の体操に静岡市の「でんでん体操」を取り入れる。	毎日体操を行っているがマンネリ化している 為楽しく行える体操をして利用者様が元気で 過ごされる様に努める。	でんでん体操は土日を基本に行い、車椅子の方でも出来る様に職員が工夫して行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。